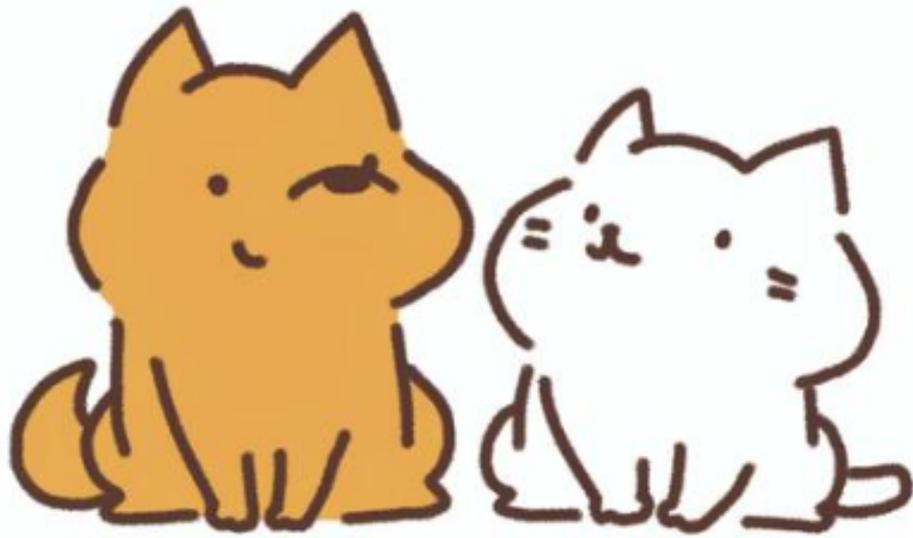


SFTS とは？



SFTSとはフレボウイルスを保有するマダニに咬まれて発症する重症熱性血小板減少症候群のことです。



フタトゲチマダニ (国立感染症研究所)

2013年国内で初めて人で確認されて以降、主に西日本で多発し、国立感染症研究所の集計では、2023年4月末までに835人の患者が報告されています。

感染すると発熱、消化器症状がみられ、白血球数や血小板数が減少し、出血症状を呈するなど重症化し死亡する事例がみられます。

一方、マダニに咬まれた猫・犬の愛玩動物にも感染し、2023年3月末までに647頭の感染が報告されています。中でも、猫では上記症状に加え、黄疸を発症、重症化し死亡する事例が多く、感染した動物の唾液等の体液から人に感染する事例も報告されています。

マダニが寄生し、発熱や食欲・元気がなくなった場合は、早急に動物病院を受診されることをお勧めします。